丸石化学品

事業拡大し選ばれる企業へ

丸石化学品は、2027年度からの4カ年次期中期経営計画において、同社および丸石テクノを中核に事業を拡大、グループ全体で30年度に売上高700億円以上、営業利益15億円以上を目標とする。合成樹脂／ゴム関連と塗料／コーティング関連を基盤事業として継続拡大するとともに、エレクトロニクス関連、ライフサイエンス関連、インフラ関連（丸石テクノの塗料・空調、丸石プラスのFRP・ゴム加工など）を伸びる事業として注力する。M&A（合併・買収）も含め事業拡大、機能構築に向けた投資を検討中で、次期中計での実現を目指す。

同時に、エンゲージメント向上、人材獲得・育成強化に向けた投資も進めていく。そのための仕組みやバックオフィス機能の強化、人事制度改革を行いつつ、「選ばれる企業」を目指す。

営業部門の組織改編も検討中で、既存ビジネスの再編と併せて、エレクトロニクス（電子材料）とライフサイエンスにより注力できる体制を整える。27年4月には組織化した取り組みにより、マーケットインによる事業開発をより一層加速させる。

丸石テクノは値上げ効果もあり、工事関連を中心に好調に推移しているが、次期中計ではさらなる事業拡大を見据えた組織力・バックオフィスの強化に取り組む。丸石プラスは加工数量が拡大しており、今年度の黒字化を見込む。将来に向けた工場の設備更新なども検討する。

30年度には海外拠点・輸出ビジネスの海外事業売上高100億円の達成を目指す。中国ではゴムコンパウンドの合弁会社との協業が順調に進展中。また、塗料関連など新しい取り組みも始まり事業拡大を狙う。

東南アジアではタイを中心とした事業拡大の方針を継続する。現地法人を設立したベトナムについては、次期中計での黒字化を目指す。取引先との関係からインドも重要市場と位置づけ、テーマ追求を始めている。